

# 留 学 報 告 書

記入日：2016年7月15日

氏名	氏名：長友 健介
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 (英) มหาวิทยาลัยศรีนครินทรวิโรฒ
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2016年5月30日
明治大学卒業予定年月	2017年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため、明治大学授業料の支払いのみ
宿舍費	9000*10	315000円	A-spaceというコンドミニアム(タイ人向け)
食費	5000*10	175000円	
図書費	5000	17500円	日本から輸入した。教科書は20～800と様々
学用品費	1000	3500円	大学内の購買でノートやペンなど
教養娯楽費	30000	105000円	ボランティアやFWなど(大学のツアーは3000B位)
被服費	2400	8400円	ほとんど持っていった(もって行ったほうがいい)
医療費	0	0円	大学の保険でまかなった(6万程度)
保険費		60000円	大学保険(必須)
渡航旅費	100000	350000円	3回日本に帰ったため
雑費	9000*10	315000円	交際費(付き合いすべて)
その他( )	30000	105000円	原付代(交通費が安くなる)
その他( )	1000*10	35000円	水と電気(管理のための費用含)
その他( )	700*10	24500円	通信費(パックでWiFiと3G)
合計	415400	1513900円	±10万円程度

渡航関連	
渡航経路	羽田～スワンナプーム
渡航費用	チケットの種類 Fixed Tickets(economy class)
	往路 60000
	復路 60000
	合計 120000
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
ANA のページから予約（LCC は盗難、紛失リスクが大きいので、やめた方がいい）	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
ラム9 世駅の近くのコンドミニアム（A-space condo）	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：     ）
住居を探した方法	
タイの友人に頼んだ。タイ人向けのコンドミニアムは保証人がタイ人でなければいけない。その際に保証人になってくれる人を探すことが必要。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
大学にできるだけ近い方がいい。あとセキュリティや、害虫などの問題から、住まいにはお金をかけるべき。（最低 8000B 程度）	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；大学内診療所（無料）もタイ語にて利用可	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
相談窓口はあった。（アセアンセンター）しかし、主に友人と家族を頼った。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
タイはビジネス街以外は危険である。私は一度集団に襲われそうになったが、タクシーに逃げ込んだ。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？	
例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	
日本と変わらないレベルの速度は出るがネット検閲あり。	
現地での資金調達はどのように行いましたか？	
例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。	
UFJ のデビットカードで日本の口座から現金引き出しが一番安い（海外送金は迅速にできない点がマイナス）	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
身の回りのものすべて。高級なものは日本より高い。女性は化粧品。	

## 進路について

進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
キャリアフォーラム、マイナビ国際派
就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
入社：大手証券会社、内定：総合運輸、メーカー等
就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
国内企業は理解が足りないので，留学生は就職活動全体を見れば不利だと思います。しかし，留学生活から自分に武器を持つことができれば，全く不安はありません。
進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。 (私自身も将来的に海外の大学院に進学を考えています、何事も躊躇わないでください)

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ，記入してください。
18 単位（      科目）	<input type="checkbox"/> 単位（      科目） <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由：未定）

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Principles of Modern Management
履修した授業科目名（日本語）	近代マネジメントの基礎
科目設置学部	インターナショナルカレッジ
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に110分が1回
担当教員	Dr.Panpim Cheaupalakit
授業内容	近代マネジメントの基礎の講義。
試験・課題など	
感想を自由記入	詰め込み授業です。出席が2割程度、小テストやテスト、授業中の発言が8割程度です。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	End User Behavior
履修した授業科目名（日本語）	最終消費者の行動

科目設置学部	College of Social Communication Innovation
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	
授業内容	消費者心理を分析する授業です。コマーシャルやドキュメントを分析し、班に分かれて発表する形式です。
試験・課題など	発表が50点、テストが50点です。
感想を自由記入	出席せずとも単位が取れる珍しい授業。しかし本気で取り組む学生が多いことから、足元をすくわれます。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Economics of Selected Countries
履修した授業科目名（日本語）	各経済圏の経済
科目設置学部	SCHOOL OF SELECTED COUNTRIES
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教員	Dr. Suppanunta R
授業内容	それぞれの経済圏の経済を分析する授業です。経済学の基礎知識をおさらいしながら、それぞれの班が指定した地域の経済を分析し、発表します。
試験・課題など	発表が50、試験が50
感想を自由記入	この授業では英語での経済学の知識が求められます。私はこの授業のために経済学の本を3冊勉強しました。病欠から最終的に評価は高くありませんでしたが、求められる知識量が多い分、成長しました。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Marketing in Sustainable Tourism
履修した授業科目名（日本語）	持続的観光業のマーケティング
科目設置学部	International College or Sustainability Studies
履修期間	後期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Kamran Khan
授業内容	観光業のマーケティングの授業です。特に観光業に絞ったマーケティングの基礎を勉強します。

試験・課題など	テストが授業2回で1回あります。期末、中間テストもあるため勉強量多し。
感想を自由記入	途中で辞めましたが、この授業の単位を取得できたら観光業で働けると思います。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Language and Critical Thinking Skill
履修した授業科目名(日本語)	言葉と批判的思考の技術
科目設置学部	人文学部、英語学科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	発表、グループワーク
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Mr, Kit
授業内容	クリティカルシンキングの授業です。それぞれの発表テーマを決め、発表していく授業です。
試験・課題など	発表が100%です。中間、期末にそれぞれ発表があります。
感想を自由記入	大学2年生の授業であるにもかかわらず、大学3年生の授業と遜色ない授業構成でした。難しいです。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Discussion and Presentation
履修した授業科目名(日本語)	ディスカッションとプレゼンテーション
科目設置学部	人文学部、英語学科
履修期間	前期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	発表とグループワーク
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Mr, Kit
授業内容	ディスカッションとプレゼンテーションの授業です。先生の出すお題にしたがってそれぞれがプレゼンテーションやディスカッションをします。
試験・課題など	発表が全てです。
感想を自由記入	この授業では英語が上手な大学生がたくさん居ます。英語でのスキルを身に着きたい人は履修するといいでしょ。

## 留学に関するタイムチャート

2014年 10月～12月	留学面接等のための準備と論文執筆で忙しい。
2015年 1月～3月	事前準備としてフィリピンに語学、タイの TNI に研修に出た。
4月～7月	事前準備として英語を勉強したが、大学の成績をとるのに時間を割いた。
8月～9月	タイ移住、生活環境を整えるには2週間程度かかる（体調等も）。
10月～12月	授業が本格化、ボランティアでの活動も合わせて、積極的に学生とかかわる機会を増やした。
2016年 1月～3月	休みはベトナムから中国の南部まで一人旅した。授業は経済学を履修し、その学習に追われていた。そのためにほかの授業がおろそかになった。
4月～7月	テストと就職活動で手一杯になってしまった。成功はタイ人の学生との距離がぐっと縮まったこと、またタイ人の感覚が理解できたこと。失敗は就職活動に時間を割き、大学の勉強に手がつかなかったこと。
8月～9月	就職活動終了、夏休みは無い。
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	将来成長市場で働くことが夢だったから。もともと海外に興味があり、大学での授業からアセアン地域に惹かれた。シンガポールとタイがアセアンの中心のため、悩んだが、タイのほうが日本の企業が多く進出しており、日本とのつながりを学べるかと思ったため。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英会話は必須です。会話は特に大事です。 タイ人はタイ語を話しますから、タイ語を学んでおくにより良い留学ができると思います。 友人に教えてもらうのも楽しいので、現地でも十分学べると思います。
この留学先を選んだ理由	大学の協定校であることから、安心して留学ができると感じた。しかし、自らが主体的に動く必要がある。ただ敷地内にアセアンセンターという明治大学の施設があり、何があっても問題に困り果てることはない。
大学・学生の雰囲気	大学としては、ゆったりした印象を受ける。トップ校ではないものの、全国でも上位の学生が集まるため頭は良い。 学生は温厚な人が多く、フレンドリー。女性が多いため、女性が留学するには居心地がとていいと思う。様々な人がいるため、良い意味で心が広がる。
寮の雰囲気	女性のみ（留学生には貸していない）
交友関係	基本的に学校が終わると皆家に帰っていく。学年が上がるごとに大人な付き合いができるようになる。放課後は暇になることが多いので、積極的にクラブや学生同士の付き合いに参加すべき。
学習内容・勉強について	私は特にマネジメントや経済学などに力を入れていたが、大学では学んだことがないために付いていくのに労力を使った。授業においても英会話はかなり必要になるため、事前に学んでおくこと。タイ語での授業は、タイ語が難しいため現実的ではない。
課題・試験について	試験は覚えるだけで大半はパスできる反面、考える力は付きません。これについては、在学中に知ることとなると思います。一言で言えばつめこみです。
大学外の活動について	私はボランティアクラブ（ASA）に所属していました。月一度数日かけてボランティアに行きました。学内のコミュニティだけでなく学外や違う年代の人ともつながりが出来ました。一度も誘いを断らなかったことで、結果的に多くの人と知り合うことが出来ました。
ある平日のスケジュール	
ある休日のスケジュール	
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	自らのゴールは何でしょうか？その過程に留学が必要なのであれば、しない理由は無いです。何のために留学するのか、愚直に考えてみてください。考えた末に留学があったなら、留学生活も充実したものになると思います。

ボランティアクラブでの活動中

